



「全国ランニング大会 100 撰」に選出！ 練馬こぶしハーフマラソン 2016 を開催

と き 平成28年3月27日（日）午前8時スタート
と ころ スタート・ゴール：都立光が丘公園（光が丘4-1-1）

27日、練馬こぶしハーフマラソン 2016 が開催され、5,000人のランナーが区内の幹線道路を駆け抜けた。

午前8時、練馬こぶしハーフマラソン実行委員会会長 前川耀男 練馬区長の号砲のもと、都立光が丘公園を一齐にスタート。ランナーは春の訪れを感じながらそれぞれのペースで走りを楽しんだ。

最速タイム1時間6分35秒を記録し、総合男子第1位に輝いた宮部広季（みやべひろき）さん（東京陸上競技協会）は、「自己ベストを10秒以上更新できてよかった。今大会を励みに様々な大会で良い記録を出していきたいです。」と話してくれた。

また、1時間20分40秒で総合女子第1位の窪田怜子（くぼたれいこ）さん（大泉スマイルランナーズ）は、「苦しい時もありましたが、沿道の皆さんの応援が心の支えになって何とか頑張れました。次はフルマラソンにも挑戦したいです。」と話してくれた。

初開催の前回大会は、大会運営や沿道からの切れ目のない応援が好評価を得て、「全国ランニング大会 100 撰」に選出された。（ウェブサイト「RUNNET」より）一方で、苦情が寄せられた通行規制は本大会で1時間近く短縮することができ、大きな改善に成功した。



▲ 春の風を切って走る
練馬こぶしハーフマラソン

【大会の様子】

平成28年3月27日「練馬こぶしハーフマラソン 2016」が開催され、日本全国から参加した5,000人のランナーが都立光が丘公園をスタートした。本大会は笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道の幹線道路のほか、今大会から新たに設けた「マンションの間を縫うように走る」コースなど、ランナーはバリエーションに富んだコースを楽しんだ。

大会には、川内優輝さん、谷川真理さん、昨年女子総合1位で練馬区在住の吉田香織さんがゲストランナーとして参加。中でも川内優輝さんは、沿道の声援に応じて日本代表トップクラスの走りを披露してくれた。

（川内優輝さんの記録：1時間5分32秒）



▲ 区内4つの幹線道路を
走れることも魅力

【よりどりみどり練馬ストリートの様子】

都立光が丘公園の広場に設けられた「よりどりみどり練馬ストリート」では、30以上の団体が出展。大勢の来場者が、大型ビジョンでマラソン中継を観戦したり、ゲストランナーによるトークショーや飲食エリアなど、練馬の魅力を楽しめる様々なブースを満喫した。レース終了後、練馬の大根を使用したすずしろ汁が振る舞われ、ランナーたちはレースで疲れた体を癒していた。

【大会結果】

男子 総合1位 宮部 広季（1時間6分35秒）
女子 総合1位 窪田 怜子（1時間20分40秒）



▲ 最後まで途切れない沿道の応援で
選手が気持ちよくゴール

【大会公式ホームページ】 <http://www.nerima-halfmarathon.jp/>

【問い合わせ】練馬区 シティマラソン担当課 シティマラソン担当係

電話 03-5984-3555